

| 公 開 講 演 会 |



WILLIAM
SHAKESPEARE

翻訳作業が教えてくれる シェイクスピア

講師 ————— 松岡和子
(翻訳家・演劇評論家)

ページから
シェイクスピアへ

2010.6.29 [火]

時 間 | 13:15~14:45※開場12:45

会 場 | 東京女子大学 24202教室
(東京都杉並区善福寺 2-6-1)

申込不要・聴講無料・定員300名

アクセス

JR 西荻窪駅または吉祥寺駅より
関東バスで「東京女子大前」下車

案 内

東京女子大学比較文化研究所

◎ 03-5382-6506 (行事案内テープ)

◎ <http://lab.twcu.ac.jp/icsc/home.html>



東京女子大学比較文化研究所

ページからステージへ

—翻訳作業が教えてくれるシェイクスピア—

講演梗概



私が初めてシェイクスピア劇の翻訳を手がけたのは1993年、それから現在まで24本の作品を訳しました。そのすべてが、蜷川幸雄さんをはじめとする優れた演出家の手を経て舞台にかかっています。それぞれの戯曲が原文の「ページ」から稽古を経て「ステージ」へと立ち上がってゆく過程で、様々な発見がありました。読者として読み、観客として見ていたときには全く気づかなかったような発見です。いわば翻訳作業と稽古の現場に教えられたシェイクスピア。本講演ではそんな発見のいくつかをご披露しながら、シェイクスピア劇の面白さや奥深さをお伝えしたいと思います。



松岡和子訳『シェイクスピア全集』
(ちくま文庫)

講師紹介 — まつおか かずこ 松岡 和子 (翻訳家・演劇評論家)

1942年長春市生まれ。東京女子大学文理学部卒業。東京大学大学院修士課程修了。東京医科歯科大学教授を経て、フリー。英米演劇専攻。

日本シェイクスピア協会会員、国際演劇評論家協会会員。

現在、シェイクスピアの戯曲全37作品の新訳に取り組んでいる(ちくま文庫)。

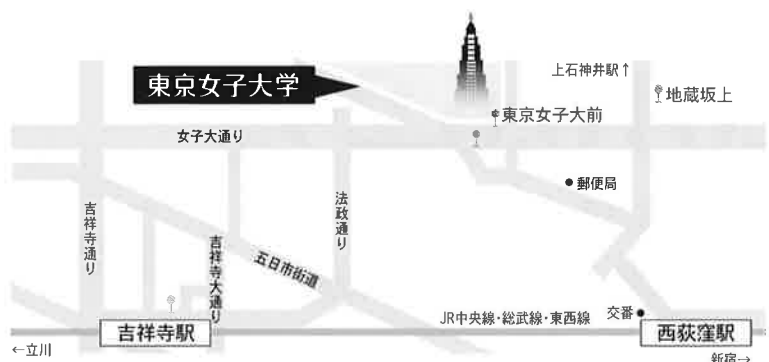
主著に、『快読シェイクスピア』(共著・新潮社)、『繪本シェイクスピア劇場』(講談社)、『すべての季節のシェイクスピア』(筑摩書房)など。

アクセス

■JR西荻窪駅北口より徒歩12分

■バス利用の場合

- 西荻窪駅北口(1番線のりば)から吉祥寺駅行、「東京女子大前」下車
- 吉祥寺駅北口(3番線のりば)から西荻窪駅行、「東京女子大前」下車
- 上石神井駅南口から西荻窪駅行、「地蔵坂上」下車徒歩5分



【所在地】〒167-8585 東京都杉並区善福寺2-6-1 ※車での来場はご遠慮ください。

東京女子大学比較文化研究所